crusher catheter M
For endoscopic biliary lithotripsy

XEMEX

CASE REPORT

ゼメックス　クラッシャーカテーテルMの使用経験

山形大学医学部附属病院
消化器内科
柿崎　泰明先生
牧野　直彦先生

はじめに

近年、総胆管結石症の頻度は増加の一途をたどり、これに伴い内視鏡的胆道結石除去術も増加傾向にある。なかでも傍乳頭憩室症例では、Vater 乳頭が憩室内に入り込んでいて十分に EST を施行できないことを経験するが、その際に砕石具の再挿管に難渋することがある。当科ではガイドワイヤーを総胆管内に留置した状態で、ガイドワイヤー誘導装置のない通常の砕石具を用いてきたが、使用に伴う先端の屈曲によりガイドワイヤー軸に合わせて砕石具を再挿管することが困難な場合もある。
このたび、ガイドワイヤールーメンチューブを装備することで、wire-guided cannulation を可能にしたゼメックス　クラッシャーカテーテル M 図 1，2）による胆道結石除去を経験したので報告する。

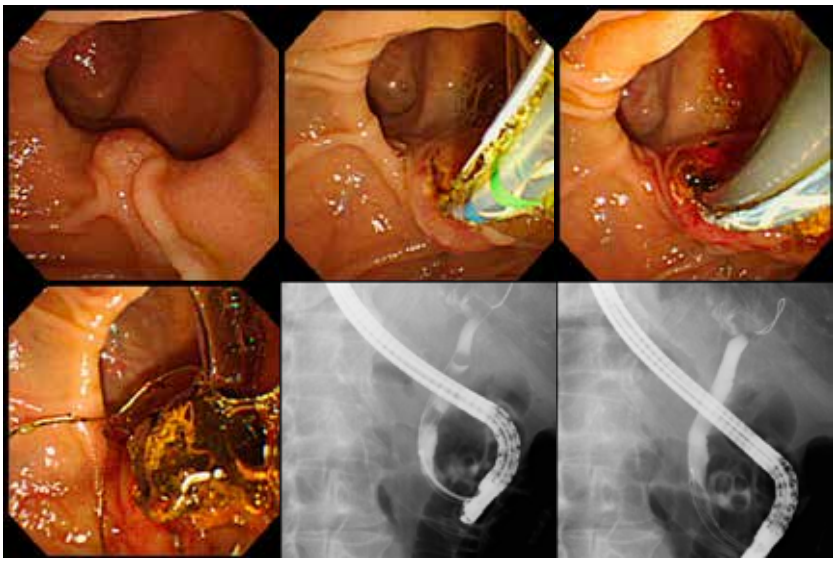
症例　1

79 歳男性。5 年前より慢性腎不全にて週に 4 回血液透析を継続していた。2 年前に胆管結石を指摘されて他院で ERCP が施行されたが、術中に血圧が低下して検査中止となった経緯がある。このたび、胆管結石治療目的に当科紹介入院となった。

ERCP を施行したところ Vater 乳頭の口側に巨大な傍乳頭憩室がみられ、胆管口は憩室内に入り込んでいた。wire-guided cannulation で選択的胆管挿管となり、胆管造影で 10mm 大の胆管結石を複数認めた。引き続き EST 小切開を行ったが、傍乳頭憩室による遠位胆管の屈曲で通常使用している砕石具が挿管困難であった。しかし、ゼメックス　クラッシャーカテーテル M はガイドワイヤー誘導下に挿入可能で、胆管結石をストレスなく除去できた。

図 1

図 2

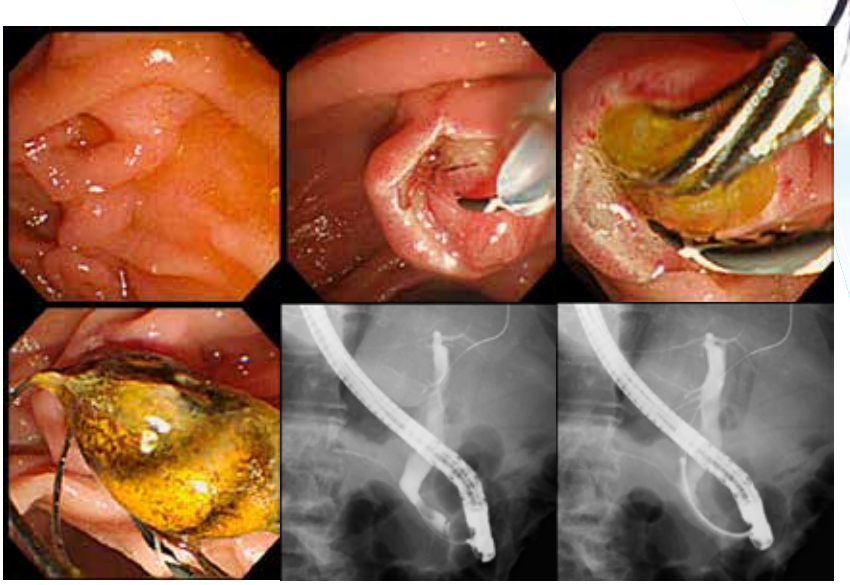

症例 1

crusher catheter M
For endoscopic biliary lithotripsy

症例 2

82 歳女性。1 年前から右背部痛を自覚することがあった。2 週間前から食欲低下があり、嘔気も出現した。前医で CT 検査を行い、遠位胆管に 14mm 長の結石を認めたため、胆管結石治療目的に当科入院となった。

ERCP を施行したところ Vater 乳頭を見上げる形での内視鏡保持が難しく、wire-guided cannulation で選択的胆管挿管となった。胆管造影では遠位胆管に長径 14mm の楕円形結石を認め、EST を施行した後にガイドワイヤーを胆管深部に留置した。ゼメックス　クラッシャーカテーテル M を用いてガイドワイヤー誘導下に挿入し、胆管結石を砕石することなく除去できた。



症例 2

コメント

造影カテーテルの胆管挿管に難渋する症例や傍乳頭憩室があって十分な EST ができない症例では、EST 後に砕石具の挿管に難渋することがある。これまではガイドワイヤーを総胆管に留置したままで砕石を行うといった工夫もあったが、ゼメックス　クラッシャーカテーテル M により砕石具の確実な胆管挿管が可能となった。

この砕石具の特徴はガイドワイヤールーメンチューブの存在であり、砕石具のシースの外側に付随しており、ガイドワイヤー誘導下に胆管に挿管できる。このガイドワイヤールーメンチューブは同部位のシースよりも若干長めとなっており、砕石具を胆管挿管する際のしなりに対応でき、ガイドワイヤーへの高い追従性を実現した。また、ガイドワイヤールーメンチューブによってガイドワイヤーがクラッシャーカテーテルの 6 時に固定されていることにより、ガイドワイヤーのテンションは乳頭の 6 時方向にかかる。このため、EST 後の胆管口は 11 時から 6 時方向に縦に広がった状態となり、排石がよりスムーズとなる。

症例 1 は巨大な傍乳頭憩室により胆管挿管が難しく、EST も十分ではなかったが、ガイドワイヤー誘導下で確実に砕石具を胆管挿管することができた。また、10mm 大の結石すべてを砕石なしに除去できたのは、ガイドワイヤーで乳頭の 6 時方向にテンションをかけた状態で砕石具の牽引ベクトルをガイドワイヤー軸に合わせることにより、最小限の抵抗で結石を掻き出すことができたためと思われた。この症例は術中鎮静による血圧低下で ERCP 中止となった経緯があり、短時間で手技を終える必要があったため、ゼメックス　クラッシャーカテーテル M で砕石せずに短時間で結石除去でき、極めて有用であった。

症例 2 も胆管挿管に難渋した症例であったが、ガイドワイヤー誘導下に確実に砕石具を挿入できた。14mm 長の結石をゼメックス　クラッシャーカテーテル M で把持して、砕石せずに除去することにより短時間で手技を終了できた。

ガイドワイヤーへの高い追従性、牽引時の抵抗の軽減は、胆道結石除去術の安定化、迅速化に寄与する可能性がある。

製造販売元
ゼオンメディカル株式会社
URL:http://www.zeonmedical.co.jp

XEMEX は日本ゼオン㈱の登録商標です。

1117000(ZM02)